



### 白内障(はくないしょう)について③

では前回号に引き続いて「白内障」についての解説です。続いて一般的な白内障についての解説を掲載したいと思います。日本眼科学会のホームページ

[http://www.nichigan.or.jp/public/disease/suisho\\_hakunai.jsp](http://www.nichigan.or.jp/public/disease/suisho_hakunai.jsp)

からの引用となりますが、以下に全文を掲載してみたいと思います。

@@

#### 白内障

#### ■白内障とは

私たちが目で見て像は、角膜、水晶体を通った光が網膜面で結像したもので、水晶体が濁っていると霞んで見えるようになります(図1)。水晶体は直径が11mm前後の凸レンズで、水晶体嚢(のう)という透明の薄い膜に包まれています。そのなかで水晶体上皮細胞が増え続けており、子供より老人の水晶体のほうが重く厚くなります。白内障はさまざまな原因で水晶体が濁る病気ですが、昔から俗に「しろそこひ」と呼ばれています。

白内障の種類は濁っている状態によって細かく分類されていますが、大きくは前囊下白内障、皮質白内障、核白内障、後囊下白内障に分けられています。原因として多いのが加齢によるもので、一般に老人性白内障と呼ばれていますが、主に皮質の混濁(皮質白内障)や核の硬化(核白内障)が進行します。光が水晶体を通過する面は瞳孔の大きさで変わりますので、光が通過しないところが濁っている場合は、自覚症状はほとんどありませんが、瞳孔を開く検査(散瞳検査)で水晶体を観察すると、早い人では40代から、80代では大部分の人で白内障が発見されます。

その他の原因として、先天的なもの・外傷、アトピーによるもの・薬剤放射線によるもの・そして他の目の病気(炎症)に続いて起こるものなどが挙げられます。水晶体が濁り始めると、水晶体で光が散乱するため、霞んだり、物が二重に見えたり、まぶしく見えるなどの症状が出現し、進行すれば視力が低下し眼鏡でも矯正できなくなります。

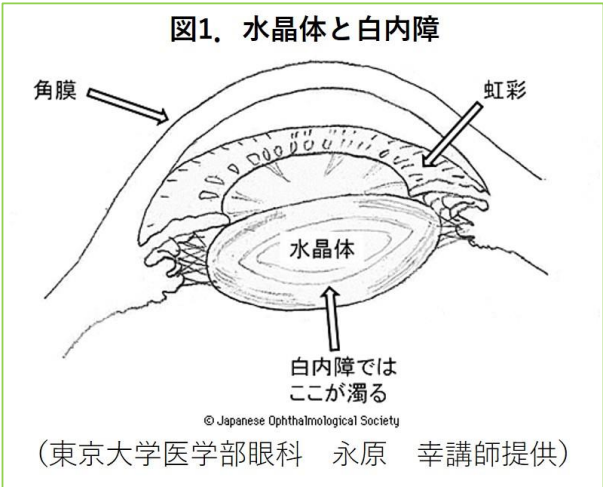


図1. 水晶体と白内障

© Japanese Ophthalmological Society

(東京大学医学部眼科 永原 幸講師提供)

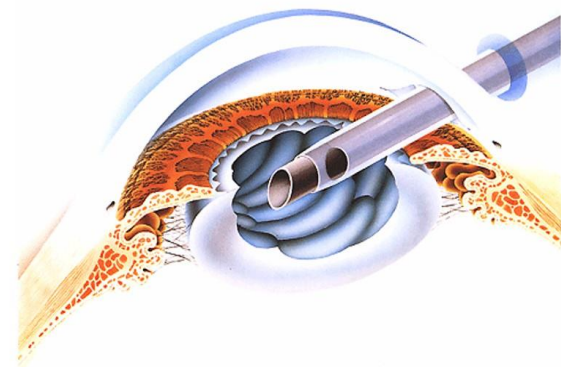
#### ■白内障の治療について

ごく初期の白内障は点眼薬で進行を遅らせることができる場合がありますが、濁った水晶体をもとに戻すことはできません。進行した白内障に対しては、濁った水晶体を手術で取り除き、眼内レンズを挿入する方法が一般的に行われます。

#### ■白内障手術について

手術は局所麻酔で顕微鏡を使って行われますが、顕微鏡の光の眩しさと緊張感が相まって血圧が少し上がる方がほとんどです。手術では痛みに応じた適切な局所麻酔の方法が選択されますので、手術中の痛みはほとんどありません。最近の手術は約3mmの創(きず)から超音波で振動する吸引管を挿入し、灌流しながら水晶体を吸い出し(超音波水晶体摘出術)、残した薄い膜(水晶体嚢)の中に眼内レンズを挿入する方法が主に行われていますが(図2)、進行した白内障は手術が難しくほかの手術方法が選択される場合もあります。

図2. 超音波で水晶体を吸い取っているイメージ



© Japanese Ophthalmological Society

@@

### 2018年度夏季休診日程

	8/15	8/16~23	8/24
AM	○	×	○
PM	○	×	○
	※ ×・・・休診 ○・・・通常診療		

紙面の都合で今回のフジタガンカニュースはここまでとなります。ちなみに上記引用文中に登場する「眼内レンズ」とは、藤田が前回号までの解説で使用した「人工レンズ」と全く同じ意味です。人工レンズ=眼内レンズということですね。それでは次回号をお楽しみにー(^^)/

### 今月のお知らせ

本年度の夏季休診は左上の表の通りとなっています。ご迷惑をお掛け致しますが、ご理解の程お願い致します。



<http://www.fujita-ganka.com>



FUJITA-EYE-CLINIC

# 藤田眼科

エフ・ビジョン(コンタクトレンズ販売)

# P-Vision

☎ 042 (645) 0575

☎ 042 (642) 2911